

## バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル No. 81

### SABS Journal No. 81

発行日 2016年4月15日(金)

URL <http://www.sabsnpo.org>

---

このジャーナルはもともと協会内部向けのものでしたが、数年前から、少しでもバイオテクノロジーに、ご関心のありそうな方々に向けても配信を始めております。ご興味の無い方は[配信不要の旨](#)、そのまま、返信してお知らせください。

#### 1) 昨日・今日・明日

この項は毎月奥山典生先生が担当されていましたが、昨年6月に先生がご逝去され、前号(80号)と同様、誠に残念ながら先生の文章はございません。これまで、この項では、先生が様々な分野にわたり、次から次へと溢れる蘊蓄を毎回披露されて居られました。奥山先生亡きあと出来るだけ先生のご遺志を継ぎバイオテクノロジー標準化支援協会(SABS)を続け発展させて行かねばなりません。これからの定例会では会員の方々が毎回次々とそれぞれの方々がご専門の蘊蓄を傾けることで少しでも先生のご遺志を継ぎ会員各位の親睦と勉強の一助となればと存じます。

さて、前回の定例会では小林英三郎さんが「記録と伝搬」という題名でお話されました。小林家の家宝の一つ百万塔を持って来られたのですが、この百万塔は仏教経典の一部(陀羅尼)が印刷されている紙が入っていました。陀羅尼は奈良時代(AD770年頃)に百万部印刷され、当時の日本の推定人口はおおよそ500万人程度だとすると何と5人に一台あてで国内隈なく配布されたといわれていて、現存する世界最古の大量印刷物です。現在、法隆寺に4万基あまり残っているということですが、国立国会図書館や国立博物館、印刷博物館のほか、愛知学院大学、龍谷大学、和歌山大学などにそれぞれ数基ずつあるだけでインターネットオークションに沢山出ているコピーや偽物を除けば大変貴重なものです。

小林さんは「伝搬」については、紙による印刷物の普及の他に、日本ではほとんど知られていないが、特に通信手段として18世紀末から19世紀初めにかけて短期間ながらフランスを中心としたヨーロッパで一世を風靡した「腕木通信」を詳しく解説されました。

小林さんの紙の話に触発され、今回の話題提供は檜山が「紙など」という題で「紙」を中心にお話させていただきます。大量出版の記録媒体として紙は19世紀までは手すきに頼っていたとはいえず現在に至るまで大量生産が可能な媒体として非常に重要な役目を担ってきました。奥山先生

も大変関心を持って居られたようで 2012 年 4 月の当会で紙や製紙について話をされました。先生の当時書かれた要旨は添付ファイルにしましたのでご参考まで。大学院では乳酸菌の酵素化学で学位をとりその後光合成の物理化学・生化学をやってきた筆者ですが、実は卒業研究では木材化学をやっていました。そんな筆者の話は奥山先生と多少違う観点から話題を提供させて頂ければと思っています。

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

## 2) 第 73 回定例会のおしらせ。

\*\*\*\*\*

### バイオテクノロジー標準化支援協会 第 73 回 定例会

\*\*\*\*\*

ご注意：定例会はこれまで毎月第 4 金曜日に開かれてきました。先月は例外的に会場の都合で木曜日にせざるを得ないことになりましたが、**今月はいつものように金曜日**です。

日時：2016 年 4 月 22 日(金) 14 時 00 分 - 16 時 00 分

参加費：無料

＊ (定例会は会員でも会員でなくても自由に出席して、自由に発言も出来ます。)

友人同士誘い合わせてご出席ください。出席するのが面倒な方はメールでご意見をお寄せください。

場所：八雲クラブ (首都大学東京同窓会)

道順：渋谷駅から井の頭通りの坂を東急ハズ目指して上り、ハズ建物を過ぎ交差点角を右に回って直ぐまた右に曲がるとハズ裏搬入口になります。その隣の建物がニュー渋谷コーラスです。入口奥のエレベーターで 10 階に上がり直ぐ右隣です (添付地図参照、赤丸印)。



## 話題

### \*1 演題：「紙など」 演者：檜山哲夫 氏

演者は前述のように檜山哲夫（元埼玉大学理学部）がやらせて頂きます。

ぜひ皆様のご参加をお待ちして居ります。

添付ファイル

1. 奥山先生の SABS Report (2012 年 4 月)

\* \*

\* \*

\* \*

この会では会員でも会員でなくてもご自由に出席、発言して頂くことになってい  
ます。ぜひ友人同士誘い合わせてご出席ください。

また出席されない方でもメールでご意見をお寄せください。お待ちしております。ま  
たぜひ「昨日・今日・明日」にもご投稿ください。内容・字数は自由です。また話題提  
供も大歓迎です。時間は 2 時間程度ですが短くても長くても（この場合は 2 回以上  
に分けますが）また内容も自由です。ぜひ皆さまのご参加を歓迎します。

\* \*

\* \*

\* \*

- 3) ホームページに e-library のリストがあります。会員の方はその中から  
希望のものをご指摘ください。

バイオテクノロジー標準化支援協会からジャーナルをお届けします。

- ① 配信停止・中止希望；返信にしてその旨お知らせください。
- ② 配信先等、登録情報変更希望； 返信にしてその旨お知らせください。
- ③ バイオテクノロジー標準化支援協会に新規会員登録を希望；返信にして、その旨記載してください。または入会希望書に  
必要事項を記載の上 FAX 送信ください。詳細確認希望の場合はその旨記載下さい。こちらよりご連絡差し上げます。
- ④ ウェブサイトに関するご意見；返信にして、ご意見を記載ください。